



(3) 避難所運営ゲーム HUG

HUG って、何？

避難所 HUG は、避難所運営を皆で考えるためのひとつのアプローチとして静岡県が開発したものです。避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。

HUG は、H (hinanzyo 避難所)、U (unei 運営)、G (game ゲーム) の頭文字を取ったものです。

静岡県のホームページで詳しく説明しています。ぜひ挑戦してみてください。

英語の “hug” は日本語で（ ）ですね。



提供：岡山市立井原高等学校



提供：岡山市立井原高等学校

オリジナル HUG をつくろう

静岡県版 HUG は地震災害を想定し、一般的に想定されるさまざまな課題をたくさん盛り込んで、参加者の臨機応変な対応力を養います。

ただ、避難所運営は地域や災害の種類によって様相が変わってきます。外国人の多い地域、少子高齢化の進んでいる地域、住宅街、商店街、団地など、地域の様々な要素によって対応は違ってきます。最近では、高校生（たとえば、高知県立大方高等学校や岡山市立井原高等学校）が自分たちの地域の条件にマッチした HUG をオリジナルで開発している実践例もあります。皆さんも「オリジナル HUG」づくりに挑戦してみませんか。

